

INTERNATIONAL ROTARY DISTRICT2770
ROTARY CLUB OF IWATSUKI
since 1963



Weekly Report



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

クラブ・スローガン ～ 慌てることなく発展していこう ～
誰かのため、謙虚に活力のある奉仕活動を

会長 田中芳明 例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日（月3回）
幹事 小田光司 事務所：さいたま市岩槻区本町3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

田中年度 第21回

通算第2766例会

令和4年4月14日

会長挨拶 第59代会長 田中芳明

皆様こんにちは！

本日のご挨拶も前々回に引き続き「日本古来の領土を安全に守る」について私の考えをお話したいと思います。今、日本は地理的に見て領土拡大を目的とする核兵器を持った非常に危険な国々と接しています。



その中で核兵器を持たない日本が安全な国である為には「自分の国は自分で守る」という考えが非常に大切だと考えています。日米安全保障条約がありますが有事にはどこまで機能するか疑問符だとの考えが私にはあります。その中で一つお手本にするにはスイスという国があります。日本ではアルプスの少女ハイジや観光などで明るいイメージのある国ですが、「武装中立」を謳う国です。（しかし、国連の平和維持のPKO活動には積極的です。）現在も軍事同盟であるNATOに入っていませんし、国連加盟も2002年、東西冷戦が終わってから加入しています。徴兵制度があるうえに、国全体での防衛訓練が年に何度かあるために国民全員がある程度の武器を使用することができますし、小さい行政単位での有事の指揮系統も理解しています。各家庭には自動小銃が配布されています。山岳国の為、各地域にはそれぞれ有事の際、国民が持つ武器が倉庫に隠されています。街を創るにあたって道路は空港が使用できなくなった時には滑走路代わりになるように、また、自宅や公共の建物を建てる時は必ず核シェルターを造るようになり決まりがあるそうです。（東西冷戦後、少しは緩くなっているみたいです。）軍隊だけでなく国民全員による自国の領土を守る民間防衛の意識が教育として行われている結果です。教育の中には山岳国の為に相手国を引き込んで戦い続ける悲壮な焦土作戦も辞さない意識をもたせているようです。このように相手国には攻め込まない、しかしながら攻め込まれたときは相手国に「わかっているよね」ということをしっかりと隣国に理解してもらうことが一番大切だと考えています。その様な国に進んでいくことが現在の国際状況の中で平和であり続ける為の一番の近道

だと考えています。このようなことをお話するとすぐに右翼だとか、軍国主義者だとかという括りにするのではない風潮に日本が進んでいければと思います。

さて、本日は鈴木会長エレクトによるPETS報告会です。次年度ロータリークラブの方向性を示す大切な卓話になります。どうぞ、よろしく願いいたします。

幹事報告

幹事 小田光司

1. ウクライナへの支援事業について
財団部門より感謝の意とロータリーの対応の便りが届いております。
2. 2022年4月13日に行いました、4月の定例理事会について報告致します。



【審議事項】

第1号議案

5月第二例会（5月19日夜間）会員卓話の件
インターアクト・青少年交換について中村正会員、田口雅弘会員による卓話を行う。

○全会一致で可決

第2号議案

5月第3例会（5月26日）日帰り旅行の件
日時：令和4年5月26日（木）
場所：鎌倉散策と鎌倉プリンスホテル

○全会一致で可決

第3号議案 ウクライナ人道支援募金の件
スマイルから5万円

○全会一致で可決

◆次回の例会◆ 令和4年4月21日（木） 地区研修・協議会報告 点鐘：18:00 会場：ふな又

【報告事項】

- ・3月第3例会（3月19日）
Jsoul プロジェクト PR イベント決算報告
残金 82,974 円は本会計に戻す。
トンガ王国募金額 44491 円
- ・荒井治会員退会の件
転勤によりやむなし。6月末日で退会とする。
- ・令和4年「緑の募金」の件
例年通り 5000 円寄付する。

【その他】

- ・トンガ王国募金（44491 円）は、継続して募金活動を行いある程度まとまった金額になったら送金する。
- ・蛭川会員退会の件
大塚商会からキコリさんという人が代わりに入会する。地区等の正式な入会手続きは7月になってから行う。

以上

会長エレクト研修セミナー(PETS) 報告

会長エレクト研修セミナーとは

次期クラブ会長がその任務に備えて準備するために受講することが義務付けられているセミナーです。例年3月に2日間開催されます。Presidents-Elect Training Seminar 略して PETS（ペット）といいます。



会長エレクト 鈴木真樹

■ 2022年3月16日 第1日目 ■

第1全体会議

～会長のリーダーシップについて～

次年度地区研修リーダー 大貫等

良いリーダーとは、「会員の意見を聞き、皆を引っ張り、そして最終的に会員に成功の手柄を持たせる事」というお話でした。

～次年度 RI テーマ及び地区方針～

ガバナーエレクト 細淵雅邦

「調和」及び「方針」のハーモニーが大切。また、次年度 RI テーマの中では、次年度の新しいロゴについて各所あらかず物、色に関してもポリオ撲滅、環境、平和を表していること等、それぞれに深い意味があると仰っていただきました。

地区方針では、DEI (Diversity 多様性・Equity 公平さ・Inclusion インクルージョン:包括) という価値観のもと、地区内 74 クラブの活性化、支援の方針が明確にわかりました。

～ロータリーに関わる危機管理～

次年度危機管理委員長 松本輝夫

「ロータリーにおける危機管理」においては、災害やコロナなどの疾病に対しては、クラブの連絡体制が重要であり、クラブとしての行動も再確認すること。またセクハラやパワハラなどの人間関係に関するものは、最近ではその事に対する反論が厳しくなっており、DEI の価値観のもと、まずはクラブの慎重対応がカギであると言っておりました。

～ロータリーにおける DEI の方向性～ 次年度会員増強維持部門担当諮問委員

中川高志

ロータリーの中核的価値観である「親睦・高潔性・多様性・奉仕」と言ったリーダーシップをクラブで再確認、再認識すること。またロータリーのビジョン生命を支えるための行動計画の中、DEI の価値観を取り入れ、クラブ戦略計画を見直すことが必要である。

部門別セッション

～第1セッション～財団部門

・会長としてやるべきこと

- ① ロータリークラブ・セントラルで定期的に寄付傾向を確認する
- ② クラブのロータリー補助金への参加資格を確実に維持する
- ③ クラブの覚書（おぼえがき）MOU を読み、これを承認し、規定を実践する
- ④ 進行中の補助金の報告書を期日内に提出する

～第2セッション～米山記念奨学部門

・米山記念奨学事業は、将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー活動のよき理解者となる人材を育成することと、寄付増進による多くの採用枠確保を目指す

- ① 会員一人当たりの寄付目標額 25,000 円以上
(普通寄付 5,000 円 特別寄付 20,000 円)

会長エレクト研修セミナー(PETS)報告

- ② 特別寄付者割合、法人寄付を増やす
- ③ 奨学生の例会、事業への積極的参加によるロータリーへの理解促進

～第3セッション～職業奉仕部門

・職業奉仕部門では部門委員長より各クラブの会長エレクトに職業分類に関し、再度見直し等、確認のお願いがありました

また、職業奉仕は「ロータリーの目的」の第2項を土台としており、この項で、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められています。

- ① 新たな多種の分野において職業等の情報収集をする
- ② 職業上の高い倫理基準
- ③ 役立つ仕事はすべて価値あるものという認識
- ④ 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする
- ⑤ ロータリーの「職業奉仕」を会員にわかりやすく解説する

～第4セッション～

地区代表委員より「ロータリーの友」について話がありました

・「ロータリーの友」はRIの許可を受けた日本でのロータリーの機関紙であり情報誌であり、公式な地域雑誌です。横組みのページには・・・

- ① RIの指定記事
- ② ロータリーの特別月間の関連記事、特集などの記載

縦組みのページには・・・

- ① 地区やクラブの活動
- ② ロータリアン個人としての意見や経験談、職業上の知識などの記載

是非、クラブから多くの投稿のお願いがありました
投稿にあたりましては・・・

- ① 活動の様子や参加者が判り集合写真ではない写真の添付
- ② 活動実施 1ヶ月以内の内容を重視した新鮮な情報
- ③ 全国のロータリアンが購読していることを念頭に置いた記事の作成

～第5セッション～社会奉仕部門

・次年度は、これまで行われてきた事業を再確認し、特にこの2年間活動の制限を受けて、地域社会の変化に対

応した事業の見直しをして下さい・・・との事で、地区としては新しい環境に対し、求められている事業などの調査研究そして、実行を進めるため、各クラブからの情報を収集したいと言うお願いがありました。

また、次年度より重点項目に「環境」をテーマにした情報提供も行っていくとの事です。

最後にブライダル委員会では、他団体との連携による拡大と、新たなテーマとして、再婚プログラムも検討し、これからも各クラブの社会奉仕委員会の提案を受けながら対応していくとの事です。

～第6セッション～国際奉仕部門

・国際奉仕部門では、少しでも各クラブの皆様に国際奉仕活動に対してのご理解を戴き、より多くのクラブが国際奉仕活動に参加できるお手伝いをさせていただきます。

また海外では今現在、様々な問題に対して我々の支援を待っている人々がいるので支援をお願いします。

国際交流では、海外クラブとの会議、交流会の開催です。現地のロータリアンの生の声を聞くことで、より良い奉仕事業に繋がり、また日韓親善会議、日台親善会議などに参加されたことのない方々にも力になります。

最後にコロナ鍋の中、例年通りの活動が出来ませんが、我々と共に国際奉仕・交流活動にチャレンジをお願いします。

～第7セッション～青少年奉仕部門

・ロータリアンとして次代を担う青少年への奉仕を通じてロータリーの理念や伝統を次世代の若者たちと共有していかなければならない。

それを実践するための4つの委員会がある・・・

- ① ローターアクト
- ② インターアクト
- ③ RYLA
- ④ 青少年交換

の活動を通して次世代に対する教育を広げ、若い世代のリーダーがリーダーシップのスキルを身に付け、奉仕の価値観を学べるようお願いします。

最後に、部門別セッションでは、それぞれの委員会における事業の説明や、これからの事業計画の説明などがありました。

それぞれの委員会ごとにコメントする時間はありませんでしたが、感じられたのは「熱意」でした。

↑

会長エレクト研修セミナー(PETS)報告

地区運営方針の中の「74クラブの達成感の為の支援を最優先し、運営してまいります」・・・この文言通り、各委員会とも地区内クラブの活性化・モチベーション向上のため頑張っているのが非常にわかりました。

最後に、グループセッションでは同じグループ内の会長エレクトの皆様と意見を交わし、協議する場では緊張しましたが、細淵エレクトの「想像しよう未来の調和」のスローガンのもとクラブを良い道に導くため、できる限り努力をしないといけない気持ちを今一度引き締め、頑張りますので宜しくお願い致します。

以上

■ 2022年3月16日 第2日目 ■

「新会長に期待すること」

第一地域ロータリー公共イメージコーディネーターの井原実バスターガバナーより3つの宿題をいただきました。

- ① ロータリーとは何か？ロータリーは何をしているのか？
その答えを一年通して考えること。
- ② ロータリーの友を二年さかのぼって読み返すこと
- ③ 会長挨拶に力を入れること・・・

グループ別セッション

第4グループでは、次年度内山ガバナー補佐（大宮西）よりご挨拶があり、大宮西RC・岩槻RC・大宮北RC・大宮東RC・岩槻東RC・大宮北東RCの順で次年度会長の自己紹介をしました。

その中で、大宮西RC60周年・岩槻RC60周年・大宮北RC50周年・大宮東RC45周年と、4クラブが周年を迎えるとわかり、周年記念事業はどのように考えているのか？という質問がありました。

次に各クラブ内において、クラブ戦略計画を立てているクラブはどのくらいありますか？という質問では、大宮西クラブ、岩槻クラブの2クラブでした。計画にそって事業・活動は行っているのか？計画をこれから立てるクラブには、どのような計画を立てていくのかを確認しておりました。

最後に次年度のIMでは、グループごとに「環境」をテーマに取り入れた事業を行う話がありました。

第2全体会議・グループセッション発表

第4グループからは内山次年度ガバナー補佐より周年を迎えるクラブの報告と、クラブ戦略計画を立てる発表がありました。

鈴木真樹会長エレクト、2日間の長時間にわたり研修お疲れさまでした！



スマイルBOXより

- 小田光司 よろしくお祈いします。
鈴木真樹 本日の卓話、PETS報告宜しくお願いします。
田中芳明 鈴木会長エレクトPETAおつかれさまでした。本日の報告を楽しみにしています。
田畑寛樹 皆様本日も宜しくお願い申し上げます。鈴木会長エレクト、PETS報告宜しくお願いします。
出山知宏 よろしくお祈いします。
三浦宣之 エレクト、PETS報告宜しくお願いします。

スマイル報告

本日のスマイル合計	10,000円
年間累計額	498,000円

出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
28	8	2	12	78.57%

リモート出席でのスマイル送金 埼玉りそな銀行岩槻支店 (普)1445466 岩槻ロータリークラブ

発行：会報・広報委員会 副委員長 内藤 明 委員 中村 正 田畑寛樹 岡野育広